

令和6年度(2024年度)金沢大学法科大学院 入学試験問題

【A日程】法律専門科目試験

民法 出題の意図

問題1

民法177条の「第三者」に関する問いである。物権変動の事実について悪意である者であっても、第三者に含まれ、対抗するには登記を要するが、背信的悪意者は第三者に含まれないと解されている。その趣旨もあわせて説明することが求められる。

問題2

複合的契約における債務不履行と解除に関する問いである。屋内プール完成の遅延という履行遅滞を理由として、契約解除の意思表示をし、代金の返還を求めることが考えられる(民法541条)。

考え方の一例として、最判平成8年11月12日民集50巻10号2673頁が参考になる。マンション区分所有権購入契約(α契約)と、クラブ会員権購入契約(β契約)はあくまでも2つの契約であるとして、β契約の解除を論じた上で、α契約の解除については、複数の契約の目的が相互に密接に関連付けられていて、社会通念上、契約の一方が履行されるだけでは契約を締結した目的が全体としては達成されないと認められる場合には、一方の契約の債務不履行を理由に、民法541条に基づき他方の契約を併せて解除できる、といった理論を展開することになる。なお、α契約及びβ契約を1つの混合契約だとみれば、屋内プールを建設して利用させることが要素たる債務と認められるかを検討し、契約全体の解除の是非を論じることになる。